

# 兵庫商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会  
発行 兵庫県商工団体連合会  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12  
☎ (078) 341-0563(代)  
FAX (078) 341-0885  
http://www.hyoshoren.co.jp/  
Email: info@hyoshoren.co.jp

2022年4月  
第356号

## 税金の集め方、 使い方を改めよ! 重税に怒り 各地で3・13行動



消費税10%増税とコロナ禍により、国民のいのちと健康、くらしと経営が大打撃を受ける中、53回目となる「3・13重税反対全国統一行動」が感染症拡大に留意しながら、3月11日を中心に各地で取り组まれました。「3・13兵庫県実行委員会」は統一行動を機に、くらしと営業、雇用、そして命と健康を守る草の根の運動に全力を尽くすこと、夏の参議院選挙に向けて世論と運動を大きく広げ、国民本位の政治に転換しようと呼びかけています。

### にぎやかにパレード

3月11日、コロナ禍で3回目の3・13重税反対全国統一行動を望海浜公園グランドで行いました。12時半に役員や消毒係、誘導係をお願いしていた人が集まり、打ち合わせを行いました。13時半、司会・議長の寺田幸子婦人部長の進行で集会が



【明石集会】

ロシアの侵略について話し、「会長になってこの集会が最大のイベントです。民商は『平和でこそ商売繁盛』を信条に掲げてきました。民商運動を一緒にがんばろう」とあいさつしました。

始まりました。3月に書面総会で新会長になった森川裕司さんが

集会後は税務署まで約500mをゆっくり歩き、「インボイス中止」「ウクライナ支援、戦争やめよ」の手作りのプラカードを持ち、ハンドマイク2台でコール。空き缶にビールなどを入れたマラカスや太鼓でにぎやかにパレードを行いました。「今年は、税金たくさん払うから行くわ」と初参加の本村利美さん(飲食)は、「毎年こういうふうに出してたんやね」と提出後、笑顔でした。(明石・芝本通信員)



### 重税への怒り次々と 【相生・赤穂集会】

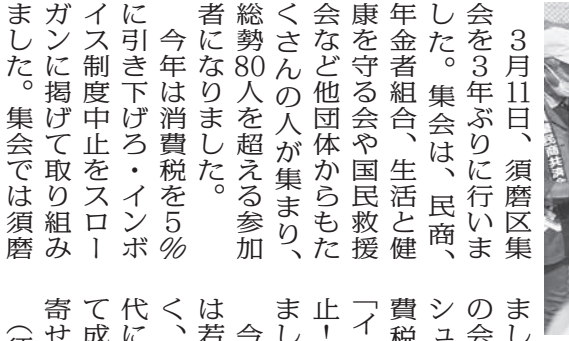
3月11日、相生市総合福祉会館で相生・赤穂民主商工会が共同3・13重税反対全国統一行動赤穂・相生集会を開きました。今年の自主計算・自主申告班会では、時短要請協力金をもらった飲食店は、何度も集まり、



### 国民の願い実現へ 政治を変えよう!!

兵庫県実行委員会は、11日夕方に、神戸元町・大丸前で宣伝を行ないました。参加者はマイクを握り、「苦境にあえぐ国民・中小業者への十分な補償と負担軽減が必要。急性期病床20万床削減計画、75歳以上の医療費2倍化、公的年金の引き下げ、インボイス制度の導入など、国民の苦難に背を向けた税・社会保障制度の改悪は許されない」と市民にアピールしました。

いくまで収支計算を行い、申告書を作成。班会では、自主計算パンフレットやビラを見ながら改めてインボイス制度に怒りをわきたせました。そして、課税事業者になった場合の税額や取引先が免税事業者の場合どうなるかなど、インボイス制度の問題や今後の対策などを話し合い、署名に取り組みました。国税庁のデジタル化が進む中で税務調査の変化や申告納税制度が形骸化する話も紹介。年始から市内でも感染者が増える中、事前に行った税務署交渉では、感染対策も取りながら集会和申告書提出を確認しました。当日は約70人が参加。集会では、相生民商の松原日出生会長が挨拶し、税務署への要望書を確認。その後、横断幕を先頭に、デモ行進を行いました。(相生・嶋津通信員)



3月11日、須磨区集会を3年ぶりに行いました。集会は、民商、年金者組合、生活と健康を守る会や国民救援会など他団体からもたくさんの方が集まりました。総勢80人を超える参加者になりました。今年には消費税を5%に引き下げろ・インボイス制度中止をスローガンに掲げて取り組みました。集会では須磨

民商会員の清掃業の会員と建設業の会員が、「このまま黙っていたら消費税が20%になってしまふ。みなさん声を上げましょう」と発言。ロシアのウクライナ侵略に対する民主主義の破壊、力による覇権主義への怒り、平和の願いが会場を包み込んだ。最後は飲食業の会員による会場でのシュプレヒコール。消費税を引き下げよ! 「インボイス制度は中止!」と皆で声を上げました。今回の3・13集会では若い会員の参加が多くなり、「民商運動を次世代に引き継ぐ機会として成功した」との声も寄せられました。(須磨・杉山通信員)

(M)



▼私が民商に入会したのは28才の時。今年でちょうど50年になった。入会のきっかけは税金問題。兵庫民商に入会し、その後北民商が分離独立したのでも、北民商(現神戸北民商)に移った▼北民商の初回総会には有馬温泉。参加したものの知り合いがおらずに会話に入れなかったことを覚えていた▼当時、若者だった私はすぐに役員に。班長、支部長、兵商連理事、常任理事、副会長になった▼民商の役員になると仕事ができなくなると人によく言われるが、私は色々な専門部も経験し、今まで知らなかった世の中の構成を知ること視野が広がった。仕事に自信がついて、生きていく上で知恵と力を授かった気がする▼18年間、北民商にお世話になったが、仕事も住居も西区に移ったので当時の西民商(現神戸西民商)に転籍。仲間と一緒に学び、民商運動と合わせ、いのちと健康を守る運動に力を入れてきた▼今、人生を振り返ると、何事になっても体の許す限り仲間と学び、運動することが長生きの秘訣だと思ふ。



# 民商で教えてもらって助かった

コロナウイルス感染症の影響で、売上が30%以上減少した法人・個人事業者への支援策「事業復活支援金」の申請が始まりました。申請し、支給された仲間の声を紹介します。

## 喜びと今後の不安も

井上正規さん



（兵庫民商）  
「（理容）  
ず、売上が50%以上減少してしまいました。「このままでは」と、支部の役員会で知った「事業復活支援金」を申請することを決めました。  
兵庫民商に相談すると「井上さんは月次支援金の給付を受けているので、簡単申請が可能です。早速申請しましょう」と言われ、早速必要書類の準備にどりかかりました。書類が揃ったので相談しな

神戸市兵庫区で親の代から理容店を営んでいる井上正規さん。  
一昨年からコロナによる外出自粛で来客数が減少。今年に入っても客数の減少はとまら

からスマホで申請。「この間、スマホで何度か申請しているが未だに慣れない。」と感想を漏らします。  
申請後、約2週間で給付のメールが届き、振込口座を確認すると入金されていました。  
「コロナで客足が減少

## 支援金はいのち綱

岡崎修さん



（建築内装）  
（神戸北民商）  
コロナの感染拡大で、インテックス大阪が病院と化して、各種イベントが中止になり、関連する仕事のキャンセルが相次いでいます。  
消費税の納付は必要だし、資金繰りに困っていた所、民商から「事業復活支援金」のことを聞き、自力でインターネット申請に挑戦して1

する不安のなかで、この給付金が入ってホッとしている。助かった。だがコロナ収束がみえない中で今後どうなっていくのか？」「井上さんは喜びと今後への不安を語っていました。  
（兵庫・平松通信員）

## 平和と憲法を守ろう

### 3・11メモリアル集会 「福島原発事故を忘れない」

原発をなくし自然エネルギーを推進する兵庫の会

事務局長 岡崎 史典

原発をなくし自然エネルギーを推進する兵庫の会（以下・原発をなくす会）は、3月20日に福島原発事故を風化させないためにメモリアル集会を開催しました。  
東京大学工学部原子



発事故以降、ほぼ毎月、福島を訪れ原発事故の影響調査を続けられています。講演のなかで、原子力工学の第1期生の多くは原子力

発推進の立場で研究を進めていたが、原子力は安全に利用できるエネルギーとして疑問を感じ批判的な立場で研究を続けていたと話しました。  
その研究成果を基に30歳前半に日本学術会議で「日本の原発政策を点検する6項目の基準」を提起し、原発の安全利用に警笛を鳴らし続けてきました。  
福島原発事故については忸怩たる思いがあり、廃炉への道

## 私の商売ものがたり

NO.230

谷口 幹博さん  
（飲食業）  
但馬民商



### 季節料理に舌鼓

神鍋高原の里山にある床瀬そばふる里は、45年前に地域の村おとしとして営業を始め、今は2代目の幹博さんが腕を振っています。  
「お客さんにはおいしいものを食べて欲しい」と、毎日そばを手打ちしています。  
お客さんはそばと七輪で焼くまつば（鳥の鎖骨部分）を目当てに来店するそうですが、常連さんは幹博さんが取りに行く山菜の天ぷら

びしい。もっと政府は小規模事業者への支援をすべきではと思っています。  
小出しでなくどーんと支援が必要です。つぶれそう、折れそう、な心を民商の仲間と力合わせて乗り切りたい。  
（神戸北民商・川口通信員）

「子どもたちが安心して学べるように」就学援助制度は「義務教育は無償」として憲法第26条に基づき、小学生のいる家庭に学用品や入学準備金、給食費、医療費などを補助するもの。婦人部の運動で入学準備金の支給を3月に前倒しするなどの制度が拡充されています。相談は民商へ。

## 経営情報

### 支援金に課税しないで

羽馬千鶴さん

（飲食）  
【赤穂民商】



赤穂市で鉄板焼・串焼いちやんを営む羽馬千鶴さん。2年前まで、20年間スナックを経営していましたが、コロナで客足が途絶え、従業員も「コロナが怖い」と辞めていったのをきっかけに

けに事業内容を変更。「生きていくために1人で出来ることをしよう」と、新たに鉄板焼・串焼で営業を始めました。スナックを営んでいた時のお客さんも来店してくれましたが、長引く自粛でお店も開けたり閉めたりが続いています。  
昨年の11月以降も売上が戻らず困っていた所、事業復活支援金の話を聞き民商で相談。パソコンの入力を手伝ってもらいながら申請し、さっそく入金しました。「支援金や給付金でやりくりしているけど、お客が戻っていないのに税金がかかるのはおかしい。国の政策の失敗で商売を潰されているような気持ちになる」と話してくれました。

ロシアの攻撃の映像を観ていると第二次大戦後から人間の思考・欲は何も変化していないのだと嫌な気持ちに。子どもや女性などへの無差別な攻撃には怒りが。今こそ平和でこそ商売繁盛の声を大きくする時です！（H）

## 編集後記